

# 『奈良公園の案内書～極（きわみ）～』

監修：千田稔 編：奈良県 発行：株式会社角川アスキー総合研究所  
令和6年(2024)3月8日発行 ID111375525

知れば知るほど面白い！ 奈良公園の“ものがたり”  
17のテーマで奈良公園を深く知る！  
国宝・世界遺産の名所を歩こう。 古都散策の必携書。

《テーマ》

平城京/東大寺/正倉院/興福寺/春日大社/シカ/奈良国立博物館/  
地形/景観/植生と植物/説話/ゆかりの歌/近代文学/  
近世～明治の奈良/近現代建築/元興寺と「ならまち/伝統工芸  
を紹介しています。

以下の項目に「奈良今昔写真 WEB」の写真が使用されているため、  
ここに紹介します。



## ◎テーマ その14 近世～明治の奈良

晒、刀、酒などの商工業が発達し、明治中期には「奈良博覧会」が開催された。

第一次奈良博覧会は明治8年(1875)東大寺大仏殿と回廊で開催。奈良県内の寺社が所有する文化財や、正倉院宝物などが展示され、その後、会場は奈良倶楽部(のちの奈良県公会堂)にも拡大され、明治27年(1894)第十八次まで開催された。



奈良博覧会が開催された旧奈良県公会堂  
大和名勝写真帖(大正4年発行)より

## ◎奈良の近代化を支えた鉄道

明治20年(1887)、大阪府から分離した奈良県は、近代化への道を歩み始めました。寺社や名所旧跡の観光を目的に鉄道網が整備され、奈良の産業発展に寄与しました。明治23年(1890)、大阪鉄道「奈良駅」開業。明治40年(1907)に国有化され、国鉄(現・JR)の駅となりました。



大正5年(1916)頃の国鉄奈良駅駅前広場  
写真提供：吉田守氏

## ◎テーマ その15 奈良公園の近現代建築

歴史的環境や風致形成との調和 そして「奈良らしさ」が生まれるまで。その過程で、奈良県の近代和風建築の一つの流れが形成された。日本聖公会奈良基督教会は、昭和5年(1930)竣工した、和瓦葺き屋根の和風建築による珍しい教会です。



竣工当時の日本聖公会奈良基督教会  
写真提供：成瀬匡章氏

掲載の写真は、「奈良県立図書館情報館今昔 WEB」より引用